科目名	老年看護学実習Ⅰ Gerontological Nursing Practice Ⅰ	担当教員 (研究室番号)	石橋信江（303）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数 (時間)	2(60)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	老年看護学における諸理論や技法を踏まえ、老人看護専門看護師と行動を共にし、活動に参加することを通して役割機能を学習し、専門看護師として実践をするための基礎的な能力を養うことを目的とする。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	２．豊かな人間性と倫理観を身につけ、看護専門職としてリーダー的役割が担える指導力やマネジメント力を身につけている。
到達目標	１．老人看護専門看護師と共に行動し、活動に参加することによって、老人看護専門看護師の機能と役割について理解することができる。 ２．老人看護専門看護師の役割と機能について、看護の場の構造や背景等の特徴を踏まえながら考察することができる。 ３．老人看護専門看護師が実践するコンサルテーションや教育的活動について、自らの意見を述べることを通して、高度で専門的な看護実践における自己の課題を言語化することができる。	
成績評価方法(基準)	・行動目標に沿って、専門看護師としての基礎的な実践能力の修得を『老年看護学実習Ⅰ評価表』を用いて評価する。 ・事前学習、実習内容、カンファレンスでのディスカッション、実習出席状況、実習記録、実習後の課題レポート、自己評価、実習成果報告会、実習施設の指導者からのコメントを含めて総合的に評価する。	
教科書	随時紹介する。	
参考書等	随時紹介する。	
受講者へのメッセージ	高度な看護判断や実践能力を体得し、実践の根拠や意図を説明することができるよう、意識して実習に臨んでください。	
備考		

学　習　内　容

※実習内容の詳細は「老年看護学実習Ⅰ　実習要項」を参照のこと

１）実習期間
「認知症老年看護に関する実習」として、2単位（60時間）を基本とした実習を行う。

２）実習施設
・社会医療法人畿内会 岡波総合病院（住所：三重県伊賀市上野桑町1734、電話：0595-21-3135）
・JA三重厚生連 鈴鹿中央総合病院（住所：三重県鈴鹿市安塚町山之花1275-53、電話：059-382-1311）
・独立行政法人国立病院機構 京都医療センター(住所：京都府京都市伏見区深草向畑町1-1、電話：075-641-9161)
・地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター
（住所：奈良県磯城郡田原本町多722、電話：0744-32-0200）

３）事前学習
・これまでの講義と演習で修得した内容を統合し、事前レポート、実習計画書、実習記録類一式を作成する。
・実習計画書の作成にあたっては、実習施設との調整を主体的に行う。
・実習記録類の作成にあたっては、指導教員および実習指導者のスーパービジョンを受ける。

４）実習内容
老人看護専門看護師が所属する施設において、老人看護専門看護師の指導の下、共に行動し、活動に参加することによって、専門看護師の機能と役割について見学・参画しながら実習する。
・老人看護専門看護師の活動基盤の把握と形成
・老人看護専門看護師の活動への参加と考察
・老人看護専門看護師の体験の追体験と自己の課題の明確化

５）実習の進行
・実習要項参照